

2020年3月6日

横浜ゴムの尾道工場がいきもの共生事業推進協議会の ABINC 賞で特別賞を受賞

横浜ゴム（株）の尾道工場（広島県尾道市）は1月30日、一般社団法人「いきもの共生事業推進協議会（ABINC※¹）」の第2回 ABINC 賞において特別賞を受賞しました。尾道工場が推進する多様な生物多様性活動が高く評価されました。

ABINC 賞は「いきもの共生事業所®認証（ABINC 認証※²）」を取得した事業所のうち、特に ABINC の普及啓発や生物多様性の主流化への貢献度が高い事業所を表彰するもので、特別賞は波及効果の大きい施設や斬新な取り組みをしている事業所に与えられます。尾道工場は2018年3月に ABINC 認証を取得しています。なお、当社の平塚製造所が2017年2月、茨城工場が2019年11月に同認証を取得しています。

横浜ゴムは、2010年に開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）に合わせ「生物多様性ガイドライン」を制定し、国内外の工場で全員参加型の生物多様性活動を推進しています。尾道工場では全敷地の約45%を緑地が占めていることを活かし、敷地内に土地に適した樹種の木を植えた「潜在自然植生」の森を再生。また、自然にできた湿地や砂れき地を野鳥や昆虫が生息する空間（ビオトープ）として創出しています。さらに、従業員が定期的に野鳥や昆虫類を調査・記録する観察会を開催しているほか、工場に隣接する藤井川の中流にある西藤親水公園では水質、水生生物、鳥類および植物のモニタリングや外来植物の除去、清掃活動などを進めています。

横浜ゴムは、中期経営計画「グランドデザイン 2020（GD2020）」において各事業の成長戦略を通じた経営基盤の強化を掲げています。CSR 活動では「未来への思いやり」をスローガンに「地球環境」「地域社会」「取引先」など6つのステークホルダーごとに事業活動を通じた社会貢献を推進しています。その一環として各事業所でも環境保全活動や地域交流活動を積極的に進めています。

※1：「Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community」の略称。いきものと人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し「事業化」を推進することを目的として2013年12月に設立された団体。

※2：一般社団法人「企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）」が開発した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づき第三者評価・認証する制度。



工場敷地内での野鳥観察



表彰状を手にする飯田正裕尾道工場長（写真左）と堀井潔係長

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570